

## コニカミノルタ株式会社

### 2024年3月期 第4四半期 決算説明会

#### 主な質問と回答

日 時： 2024年5月14日（火）17:00～18:00

方 式： オンライン／テレフォンカンファレンス

#### <ご留意事項>

「主な質問と回答」は、決算説明会に出席になれなかった方々の便宜のため、参考として掲載しています。説明会でお話したこと全てをそのまま書き起こしたのではなく、当社の判断で簡潔にまとめたものであることをご了承ください。

また、本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があることをご了承ください。

#### 【全社業績】

- Q. FY23 は当期利益黒字化が最優先であったと理解しています。FY24 の業績見通しが当期利益 0 になることに対して、マーケットへのメッセージを教えてください。場合によってはより多くの施策を実行に移して、当期赤字も考えられるのでしょうか。
- A. 4/4 の中期計画進捗説明会でもご説明したように、FY23 と FY24 は事業の選択と集中を実行し、FY25 に持ち越さないようにします。人財の最適化も FY24 にやりきるという覚悟で臨んでいます。これにより、FY25 は過去を振り返らない状況にしたいと考えています。事業の選択と集中は、相手方もあるので見通せない部分もありますが、施策と収益に対する影響を紐づけた結果、FY24 の当期利益は 0 としています。将来にアクションを先送りしないことが優先事項と考えています。
- Q. 説明会資料 P.20 について、FY25 は売上高が 1,500 億円減りますが、事業の選択と集中の結果という理解で良いのでしょうか。事業貢献利益は少し物足りない印象もありますが、黒字事業の売却等もあるということを示唆しているのでしょうか。
- A. 売上高についてはご理解の通りです。FY24 での事業貢献利益 400 億円を確実にやり切ったうえで、FY25 は事業貢献利益率 5%以上を狙っていきます。FY24 に確度を上げた上で然るべきタイミングでお知らせしたいと考えています。
- Q. FY24 の計画の考え方について、上期下期のバランスや、構造改革費用の出るタイミングについて教えてください。

- A. FY23 上期の売上高は通期の 48%程度でしたが、FY24 はインダストリーの回復等が下期に見ていることもあり上期は通期の 47%となる計画です。事業貢献利益も売上と同様の考え方になります。構造改革費用は年間で 200 億に変更はありませんが、国別、地域別に労働組合と協議中で、現時点では FY24 の中で明確な時期をお答えするのは難しい状況です。

**【情報機器事業】**

- Q. 説明会資料 P.12 の富士フイルムビジネスイノベーションとの提携について、トナーの開発や生産に関する業務提携、その他別途合意する対象事業に関する業務提携、との説明がありましたが、中長期の考え方や効果について教えてください。**
- A. トナー関連は、震災や自然災害に加えて、当社は FY21 におけるトナー工場の爆発事故などがありましたが、お客様にトナーを安定的に供給することが重要と考えています。両社の強みを生かして、非常時でもゆるがない供給体制を構築することが狙いとなります。また、共同開発や生産については今後の協議次第になります。その他別途合意する内容については、現時点でお話しできることはありません。スコープを拡張する可能性は今後協議して検討していきます。

以上